

JAM Update: 18 May

Assessment:

バグダッド日誌(5月18日)

○再会の誓い

最近部隊交代が激しく、バグダッドに到着以来親しくしていた仲間が次々に帰国してしまう。

昨日、日本コンテナによく遊びに来ていた米海兵隊員がバグダッドを出発して帰国の途についた。

は、沖縄のキャンプ・フォスターからイラクに派遣されており、家族は沖縄に住んでいるそうである。第4次バグダッド連絡班の時から仲が良く、下手な日本語で一生懸命に我々に語りかけてくれる。いつも馬鹿をして我々を笑わせてくれていた。ニック・ネームで「クレイジー・マリーン」と呼んでいたが、同僚からも同じように「クレイジー」と呼ばれており、本当に明るくて、面倒見の良い海兵隊員であった。

帰国前に日本隊コンテナにわざわざ挨拶に来てくれ、皆で記念写真を撮った。日本コンテナの前には前任者が東京・サマーワ・ニューヨークの方位と距離を示した矢印板があり、そこが記念写真を撮る場所として多国軍の中でも人気のスポットとなっている。そこで、クレイジー・マリーンは、「俺は沖縄に帰るのでニューヨークではなく、東京の方に帰るんだ。」と東京の方を指さして、皆でスナップ写真を撮った。

「イラクでの任務完遂おめでとう。帰国おめでとう。」と口々に日本隊から言葉をかけると、いつも冗談ばかりやっていた彼が、「皆さんは、ステイ・セーフです。皆さんが帰国したら沖縄で会いましょう。」と肩を抱き合って再会を誓いあった。

帰国際、見事な「敬礼」をしてサヨナラを言った。我々も敬礼を返し、後ろ姿を見送った。

ここでの勤務の醍醐味は良い仲間と巡り会えることに尽きる。また新たな仲間が、我々のコンテナを訪問してくれるのを楽しみにしている。